

第47号

題字 植村 倫子 園長



今年のみどり園まつりは小雨のなかでの開催となりましたが、朝早くから多くの方に来園いただき大変盛況でした。昨年に引き続きリサイクルをテーマに身近にあるペットボトルの蓋やトイレトペーパーの芯、段ボールが素敵な作品に仕上がりました。また生活介護班ではペットボトルにお米や豆、おはじきをいれた楽器を作成し素敵な演奏を聞かせてくれました。恒例の地域の方の歌やマジックに加え今年は利用者さんや職員も加わって地域のみなさんと「川岡音頭」を一緒に踊りました。以前夏祭りで踊っていたためか利用者さんも自然と身体が動き地域の皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。無事終えたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

今年は悲しい事件もあり、防犯に係る利用者さんの安全確保について色々と検討されました。地域と一体となった開かれた施設となることと防犯に係る安全確保がなされた施設となることの両立を図るために施設の防犯整備はもとより、日頃から地域並びに関係機関の皆さんと顔の見える関係づくりにこれまで以上に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

園長 植村倫子

みどり園まつり

～・ステージ発表・～

<北棟ダンス>

今年の北棟のダンスは、「ポンポコリン体操」と妖怪ウォッチの「ようかい体操第一」！夏休みからみどり園まつりに向けて、コツコツとダンスの練習に励んできました。子どもたちの振り付けを覚える速さにびっくりしながら、職員も一緒に楽しく練習してきました。

当日は妖怪ウォッチのキャラクターに大変身し、やる気・元気いっぱいの子どもたち。多くのお客様を前にしても全く臆することなく、ひとりひとりが踊りきったみどり園まつりでした。(眞部)



<西棟ダンス>

今年の西棟ダンスは一味違う!? 全員で踊る「パーフェクトヒューマン」は、まさにパーフェクト! な感じで、ネクタイにサングラス姿で元気いっぱい踊りました。有志による「MUGEN ROAD」や「Shere The Love」、そして職員と子どもたちがバンドを結成し、演奏した「にじいろ」も、練習の成果を發揮して、最高に盛り上がったステージとなりました。また来年も皆さんに西棟パワーをお届けできたらと思います★(西原)



<生活介護班合奏>

「みんなの力を音に乗せて…」

今年の介護班合同の演目はペットボトルマラカス合奏です。

A班は「米」B班は「小豆」C班は「マカロニ」「おはじき」が入ったペットボトルを振り、それぞれの音色とハーモニーを表現しました。うまく振ることができない人も、動きたいのを我慢して座っている、ペットボトルを離さず持っている等、それぞれが自分でできる範囲で参加しました。終わった時の拍手に、どの人も、誇らしそうな笑顔を見せていました。個々を生かしながら調和するのは日々の活動にも通じています。(藤田)



<イベント>

今年度のみどり園まつりはイベントが盛りだくさんでした。長年来ていただいている団体さんの歌・手品・踊りはもちろんのこと、警察音楽隊による防犯教室と楽器演奏、高松大学ジャグリングファームさんのジャグリング、高松市南消防署円座出張所さんにご協力いただいた消防車・救急車の展示、「きーもん」「ソウキくん」そして「骨付じゅうじゅう」によるゆるキャラのイベントと初めてのイベントもたくさんありました。特にゆるキャラの中には就労移行班の利用者の方もボランティアで入っていただき、暑く・きつく・苦しい三重苦の中で奮闘くださり、子どもたちに大人気でした! (大西)



～ 作品展示 ～

生活介護A班

A班メンバー一人一人が馴染みの布やチラシを円柱BOXに貼り付けた個性的・独創的なタワーを作成し、それを瀬戸内海の島に横し大きなドリームツリーに積み上げ完成させました。きっとおまつりに来てくださった皆様の心に、A班メンバーの夢は届いたでしょう。(三井)



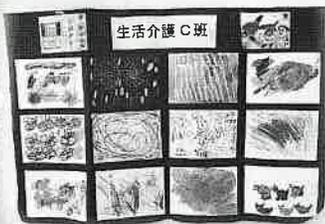
生活介護B班

生活介護B班は、春夏秋冬の情景を表現した作品と、利用者さん一人ひとりが書いた習字、そして大きなパネルに色々な作品を詰め込んだ作品の3点を展示しました。どの作品もB班のみなさんの個性が光る、大胆で楽しい作品になっています。(豊田)



生活介護C班

生活介護C班は、「夏」をテーマに作品を制作しました。月に一度外部講師の先生をお招きし、創作活動として絵画教室を開催しています。そこではそれぞれ思い思いに描き、思い出や経験したことを通して感じた気持ちを表現しています。今年の夏はみなさん充実した日々を過ごされ、想いを込めた作品が出来上がりました。その中でも選りすぐりの一枚を展示させていただきました。(河中)



生活訓練班

昨年のペットボトルタワーに続き、今年も皆で「エコアート」にチャレンジしました。トイレットペーパーの芯を使って小さなフラワーモチーフを作り、それを、どんどんつなげていくと、あら不思議！何だかおしゃれなウォールアートになりました。(前田)



給食の取り組み



給食では利用者の方々の「自己決定」を尊重し、その力をさらに高めていくための支援として、月に3～4回の選択メニューを実施しています。一人一人に料理の写真をお見せして、食べたい方を選んでいただいています。また、誕生日には、各自がリクエストした食事を、手描きのカードを添えて提供しています。ラーメン、カレー、オムライスなど要望は様々ですが、これからも利用者の皆様に喜んでいただける給食づくりをしていきたいと考えています。(三宅)

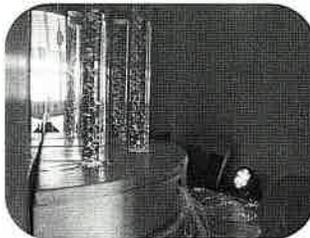


研修報告

H28年度四国地区知的障害関係職員研修会が香川県で開催され、みどり園での日々の支援について発表する機会をいただきました。発表させていただいた支援の取り組みについて、紹介させていただきます。

香川大学の坂井教授に支援技術のご指導をいただきながら、コミュニケーションや構造化(目で見て理解しやすい)支援に取り組んでいます。刺激の少ない空間をつくったり、絵カードで気持ちを伝え合ったり、一人一人に寄り添い個性を生かした支援を目指しています。

また、北棟内にスヌーズレン室が完成し、9月から使用を開始しました。光や音、肌触りなどの感覚刺激に魅了され、ゆったりとした時間を過ごす中で、気持ちの安定や豊かな内面の表出に繋がれたらと思います。



(小川)



スポーツの秋～障害者スポーツ大会～

<成人課>



東棟2名、南棟5名が参加しました。この日のために、練習を積んできた選手たち。いよいよ本番！50m走、立ち止まることなく、しっかりとゴールまで完走できました。FD/アキュラシー5では、競技中風が吹いてきて思うように練習の成果

を出せず、悔しい思いをされた方もいますが、それぞれ精一杯頑張りを、入賞された方もおられました。競技を終えた選手の表情は、満足感にあふれていました。(水澤)



<地域課>

地域生活支援課からは、6名の方が参加しました。皆さん、希望する競技でそれぞれ力を発揮されました。なかでも、昨年は「う～ん、どうしようか…」と迷った末に参加しなかったHさん。会場で頑張る仲間の姿を見て、なんと今年は、自分から100m走に出場を希望されました。見事な全力疾走で、メダルをもらってさわやかな笑顔を見せてくれました。(前田)



運動会

中部養護学校



中部養護学校には西棟・北棟の子どもたちが通っています。体育祭は、小中高それぞれ異なる日程で開催され、高等部・中学部は春、小学部・幼稚部は秋です。西棟の子どもたちは、運動神経のよい子ぞろい！！北棟の子どもたちは元気・笑顔いっぱいの子もぞろい！！体育祭では大活躍しています。子どもたちの活躍ぶり・成長ぶりを見ることができ、体育祭は、私たち職員が、毎年楽しみにしている大切な行事です。(坂井)

川岡小学校



児童課西棟には、高松市立川岡小学校へ通っている子どもたちが4名在籍しています。今年の川岡小学校の運動会は、5月。晴天に恵まれ、子どもたちの笑顔と元気がはじけていました！徒競走に始まり、組み立て体操、創作ダンスに、玉入れ・・・地域の方々といっしょに楽しんでいる子どもたちの笑顔がとても印象的な運動会でした。(坂井)

川岡幼稚園



今年度はきりん組さん1名、ぞう組さん1名の計2名の子どもが参加させていただきました。きりん組の子どもは入所まもなくで応援しながらの参加でしたが、親子競技ではいい走りを見せることができました。ぞう組の子どもはさすが年長さんという堂々とした演技の組体操やおんぶ騎馬戦・そしてチーム対抗リレーを見せていただき成長を感じました。天気も良く楽しい運動会になりました。(大西)

地域防災訓練



11月10日、園周辺自治会の会長、高松市南消防署円座出張所、消防団員の13名の方に来園いただき、みどり園の概要、利用者や職員配置の状況等を説明し、成人重度棟での夜間避難訓練を視察いただいた後、意見交換を行いました。地域の方々には、みどり園や利用者に関する理解を深めていただき、万一の際の協力体制推進につながることを期待されます。また、火災や地震があった際、より円滑に避難できるよう様々な意見をいただき、今後の避難訓練等に生かしていきます。(田辺)



<<ボランティア状況>>

新規登録件数は
5月0件 6月1件
7月4件 8月3件
9月1件 10月0件
(大西)

苦情解決処理状況

(平成28年7月1日～
平成28年10月31日)
苦情受付件数 0件
(尾崎俊)

編集後記

今年も多くの皆様のご協力をいただき、盛大にみどり園まつりを開催できました。心より感謝申し上げます。これからも元気で伸び伸びと多くの笑顔にあふれた施設にしていきたいと思っております。これからもよろしく願い致します。(小川)

<<研修案内>>

1月から2月にかけて「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」を実施します。行動障害のある方へのより良い支援を行うためのツールとして、「支援の手順書」の作成が求められているところですが、本研修では手順書に基づく一貫した支援を行うために必要な知識・技術を学ぶこととしています。多くの皆様の御参加をお待ちしております。(山下)

<編集・発行>

〒761-8046 高松市川部町418
香川県立川部みどり園 TEL(代)087-885-8600
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/shogaihukushi/midorien/>